

食品栄養学科

2022 年度 研究活動報告

- ① 栄養機能学研究室
- ② 栄養教育学研究室
- ③ 給食経営管理学的研究室
- ④ 公衆栄養学研究室
- ⑤ 食品化学研究室
- ⑥ 生体機能学研究室
- ⑦ 病態栄養学研究室
- ⑧ 臨床栄養学研究室
- ⑨ 助手

1) 令和4年度活動報告

① 食品成分由来生理活性物質の探索

ヒト培養細胞を用いて、食品や食品成分から、新たな活性物質（遺伝子発現制御、特に mRNA スプライシング制御、抗酸化作用、糖代謝改善作用など）を探索し、その分子機構を解明す

② ライフステージ別環境（食事・エイジングなど）変化が生活習慣病発症に及ぼす影響を明らかにする。1) やせ女性モデルラットから出生した出生した仔ラットのエネルギー代謝・発達に及ぼす影響、2) 短期食餌制限は生活習慣病発症に及ぼす影響、3) 魚類由来エラスチンペプチドの臓器保護作用、4) 亜臨界水処理による柿果実由来ポリフェノールの低分子化とその生理活性の分析

2) 主要な研究・教育業績

「著書」

- 1) 藤田賢一、堀史人、鶴飼生望、前田明、増田誠司、「mRNA 転写・プロセッシング・核外輸送・品質管理における相互連携の重要性」 pp279-pp288、「mRNA の制御機構の解明と治療薬・ワクチンへの活用」(411 頁)、情報技術協会、2023、ISBN: 978-4-86104-937-8

「原著論文」

- 2) Fujiwara N, Shigemoto M, Hirayama M, Fujita KI, Seno S, Matsuda H, Nagahama M and Masuda S. MPP6 stimulates both RRP6 and DIS3 to degrade a specified subset of MTR4-sensitive substrates in the human nucleus. *Nucleic Acids Res.* **50**, 8779-8806, 2022
- 3) Miyake S and Masuda S. Inhibition of mitochondrial complex III or dihydroorotate dehydrogenase (DHODH) triggers formation of poly(A)⁺ RNA foci adjacent to nuclear speckles following activation of ATM (ataxia telangiectasia mutated). *RNA Biol.* **19**, 1244-1255, 2022
- 4) 竹森 久美子, 巽 都香沙, 米谷 俊 短期食餌制限が高血圧性臓器障害発症に及ぼす影響 薬理と治療 50(7) 1187-1194 2022
- 5) Takemori K, Yoshimoto K, Kana Aoki K, Matsuo T, Kometani T Development of pups born to rats established as a model of underweight Japanese women and the onset of impaired glucose tolerance. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry* **86**(7) 875-883 2022
- 6) Takemori K, Akaho K, Iwase M, Okano M, Kometani Effects of Persimmon Fruit Polyphenols on Postprandial Plasma Glucose Elevation in Rats and Humans. *J Nutr Sci Vitamino*(Tokyo) **68**(4) 331-341 2022
- 7) Takemori K, Okano M, Shimeno A, Kometani T Polyphenol composition analysis in 30 cultivars of persimmon fruits: comparison of polyphenols between cultivars in Japan,

「学会発表」

- 1) 田口達博, 竹森久美子 DPP-IV阻害活性作用を有する 食品成分摂取による DOHaD モデルラットの 耐糖能異常改善効果の検討 第 20 回日本小児栄養研究会 2023 年 3 月 11 日 オンライン
- 2) 田口達博, 竹森久美子, 米谷俊, 増田誠司 母体の低低重が出生した仔の発育と糖代謝に及ぼす影響 第 61 回日本栄養・食糧学会 近畿支部大会 2022 年 10 月 15 日 彦根
- 3) 中村優希, 竹森久美子, 米谷俊, 増田誠司 脳卒中易発症性高血圧自然ラットに対する短期食餌制限が及ぼす影響 日本栄養・食糧学会 近畿支部大会 2022 年 10 月 15 日 彦根

3) 研究資金獲得状況

「公的資金」

- 1) 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 「ヒトにおける核内 mRNA 輸送経路の多様化とその生理的意義の解明」(令和 4 年度～6 年度) 520 万円 (R4)
- 2) 科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽) 「スプライシング阻害活性をモデルとした食品化合物の迅速探索・評価法の開発と応用展開」(令和 3 年度～5 年度) 200 万円 (R4) 他 2 件 (増田誠司)
- 3) 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「魚類由来エラスチンペプチドの血管保護作用を介した生活習慣病抑制効果」(令和 4 年度～6 年度) 143 万円 (R4) (竹森久美子)

「その他」

- 1) 日本農芸化学会 BBB 論文賞受賞 (竹森久美子)
- 2) 特許第 7178652 号 柿ポリフェノール分解物の製造方法 渡邊 博文, 大川原 正喜, 黒野 昌洋, 又平 芳春, 竹森 久美子, 米谷 俊, 安達 修二 2022 年 11 月 28 日

4) 各種委員会委員などの兼務業務 (学外の公的な委員)

Bioscience, Biothchnology, and Biochemistry 編集委員 (増田誠司)、他 2 件 (増田誠司)、
奈良県産業振興総合センター研究開発評価委員会委員 他 2 件 (竹森久美子)

1) 令和4年度活動報告

- ① 思春期を対象とした栄養教育：附属高等学校の1年生を対象とした栄養教育プログラムの検討
- ② 小学生4・6年生を対象とした食事摂取状況と咀嚼力・体組成等との関連性の縦断研究
- ③ 奈良県の認定こども園2園に通う4、5歳児とその保護者を対象とした食農教育プログラムの実践とその評価
- ④ 低アミロース小麦の構造特性の検討及び澱粉性食品などを対象とした調理科学・食品化学的研究
- ⑤ 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業：“オール近大”川俣町発・復興人材育成プロジェクトとして、地元の食材や製品の普及・町の活性化のための新商品開発提案・商品化、および観光農園における事業展開手法の提案
- ⑥ 災害時における要配慮者に対する健康リスク低減のための保温調理法の検討；咀嚼・嚥下困難な高齢者に対する災害時に利用可能な保温パッキッキング法の有用性を検討し、調理条件およびメニュー献立の提案
- ⑦ 大学生アスリートに対する栄養サポートプログラムの開発；女子柔道選手に対する調理技術、献立作成能力の向上を目指した教育プログラムの検討

2) 主要な研究・教育業績

「招待講演」

- ① 令和4年度奈良っ子食育プロジェクト事業報告，奈良っ子はぐくみ取組（食育・自然保育）事例報告会，2023.3.3.
- ② 香芝ボーイズ主催；保護者研修会「ジュニアアスリートの栄養」，2022.6.15.
- ③ 大阪府柔道連盟柔道主催；2022年度全国少年競技者育成事業（近畿地区），「スポーツ選手の栄養学について」2022.9.23.
- ④ 奈良県学校給食指導研究会主催；奈良県学校給食栄養研究会（料理研修会），「防災時の食・栄養問題～防災食パッキッキングの提案～」2022.11.18.

「学会発表」

- ① Toshiyuki Kohri, Kentaro Murakami, Masako Kawanishi, Chiho Myojin, Nozomi Okamoto, Tomoko Ojima, Mikiko Sekiya, Mako Yamamoto, Yuko Higashine, Nobuko Amano, Rie Hashimoto, Tomotake Hiroyuki, Hardness of the Habitual Diet in Relation to Body Mass Index, Waist Circumference, and Body Fat Percentage in Japanese Elementary School Children Aged 9–10 years, The 8th Asian Congress of Dietetics, 2022.8.20.
- ② Masako Kawanishi, Saki Yoshida, Rin-taro Yoshida, Tomoko Ojima, Mikiko Sekiya, Toshiyuki Kohri, Chiho Myojin, Dietary status of high school students, and effects of nutrition education

on the status to the students, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, 2022.12.8-10.

- ③ Toshiyuki Kohri, Mizuki Kondo, Chiho Myojin, Masako Kawanishi, Mako Yamamoto, Tomotake Hiroyuki, Usefulness of plastic bag heat-retention cooking of soft dishes for the elderly in disaster situations, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, 2022.12.8-10.
- ④ Nozomi Okamoto, Masako Kawanishi, Chiho Myojin, Toshiyuki Kohri, Relationship between obesity and subjective eating speed in elementary school students, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, 2022.12.8-10.
- ⑤ 尾島 朋子, 日埜 佑香, 明神 千穂, 大学女子柔道選手に対する食意識・食行動改善を目的とした集団栄養教育の有効性の検討, 日本スポーツ栄養学会第8回大会、2022.08.28

3) 研究資金獲得状況

「公的資金」

- ① 科学研究費：「食物の硬さ」学童期の発育・発達に及ぼす影響を検証するための縦断研究：260 千円
- ② 科学研究費：災害時における要配慮者に対する健康リスク低減のための保温調理法の確立：1,200 千円
- ③ 科学研究費：地域における軽度認知症高齢者に対する料理療法プログラムの開発と効果検証：120 千円
- ④ 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業：“オール近大”川俣町発・復興人材育成プロジェクト：約 2,500 千円（近畿大学全体で 16,500 千円）
- ⑤ 受託研究：奈良っ子食育プロジェクト事業、奈良県文化・教育・くらし創造部：2,000 千円

4) 各種委員会委員などの兼務業務（学外の公的な委員）

- ・ 関西広域連合調理師試験委員会委員・製菓衛生師試験委員会委員（川西）
- ・ 日本応用糖質科学会理事、評議員、編集委員、総務委員、近畿支部幹事（川西）
- ・ 奈良県栄養士会理事、奈良市支部長（明神）
- ・ 奈良市食育推進会委員（明神）
- ・ 日本家政学会関西支部役員（明神）
- ・ 日本調理科学会近畿支部役員（明神）
- ・ 日本栄養改善学会近畿支部評議員（明神）
- ・ 日本冷凍空調学会近畿地区運営委員（明神）

1) 令和4年度活動報告

食卓の色彩心理研究

Food marketing & Management 研究

食育調査・食育介入・発達心理研究

大学生の昼食時におけるコンビニ利用の実態調査

おからのメニュー開発

2) 主要な研究・教育業績

「著書」

- (1) 富田圭子（共著），味以外のおいしさの科学，第2章第1節，背景色とおいしさ，p.199-211，2022年11月11日（ISBN: 978-4-86043-802-9）

「査読付き原著論文」

- (1) Kozue Uenishi, Keiko Tomita, Shinsuke Kido, Effect of various thermal processing methods and pretreatment methods to reduce phosphorus content of chicken meat for CKD patients, Nutrition and Food Science 53(1) 61-70 (2022)

「その他著作」

- (1) 西 奈保，蔭川美智代，富田圭子，食物と健康，レッツトライクッキング 1・2・3，「手軽においしく魚を食べよう」，行吉学園出版局，176，14-20，2022年12月
- (2) 平田庸子，南 皓子，富田圭子，食物と健康，レッツトライクッキング 1・2・3，「夏野菜たっぷりカラフル簡単イタリアン」，行吉学園出版局，175，14-20，2022年7月

「学会発表」

- (1) 富田圭子，内田 和，河浦萌海，船本真由，澤田美総，チョコレートの背景色が味覚・触覚・温度感に及ぼす影響，日本色彩学会，2022年6月26日
- (2) 富田圭子，内田 和，河浦萌海，船本真由，澤田美総，チョコレートの背景色が味覚・触覚・温度感に及ぼす影響 ～高明度の場合～，日本家政学会関西支部第44回（通算102回）研究発表会，2022年11月5日
- (3) 富田圭子，安井夕海，寺田有希菜，内田 和，河浦萌海，船本真由，澤田美総，チョコレートの背景色が味覚・触覚・温度感に及ぼす影響～無彩色を含む56色について，日本色彩学会関西支部2023年度大会，2023年3月4日

「講演会」

- (1) 「視覚的おいしさを向上させるテクニック」、令和4年度丹波市給食施設協議会研修

会講師、2022 年 6 月 23 日

(2) 「子どもたちに伝えたい和食」、高齢者大学校、2022 年 9 月 27 日

(3) 「季節の彩りを愛でる和食」、高齢者大学校、2022 年 10 月 4 日

3) 研究資金獲得状況

「受託・寄附研究」

(1) 研究課題名：なら歴史芸術文化村幼児向けプログラムと連動した食育プログラム事業

依 頼 者：奈良県 文化・教育・くらし創造部

研 究 費：2,000,000 万円

(2) 研究課題名：おからを用いた新規メニューの開発

依 頼 者：株式会社カワニシ

研 究 費：275,000 円

4) 各種委員会委員などの兼務業務（学外の公的な委員）

日本色彩学会副編集委員長（富田圭子）

日本色彩学会関西支部役員（富田圭子）

日本調理科学会近畿支部副支部長（富田圭子）

日本調理科学会近畿支部常任委員（富田圭子）

日本調理科学会近畿支部高齢と食分科会世話人（富田圭子）

日本栄養改善学会評議員（富田圭子）

日本栄養改善学会近畿支部役員（富田圭子）

日本家政学会関西支部役員（富田圭子）

日本食生活学会評議員（富田圭子）

公益財団法人 マルホ・高木皮膚科学振興財団理事（富田圭子）

奈良市学童保育昼食提供事業選定委員（富田圭子）

桜井市立学校給食センター調理等業務委託業者選定委員会選定委員（富田圭子）

5) 新聞・雑誌等記事掲載およびテレビ・ラジオ出演等

なら歴史技術文化村と近畿大学農学部 幼児向け食育プログラム

「声を弾ませ初挑戦 6, 6 歳 12 品が調理場に」、奈良新聞 p. 4（ティーンズ）、2022 年 10 月 10 日（月）

1) 令和4年度活動報告

(研究室・部門での研究課題や研究内容あるいは活動内容を記入する)

1. 魚油のオメガ3脂肪酸が不整脈予防効果を示す分子機序の解明
2. 母子保健への取り組み—みかんの皮に含まれるヘスペリジンの免疫機能向上効果の検討— (妊娠動物を用いた実験)
3. 個食・孤食環境における外的要因(音、画像、動画等)が喫食者の安心感に及ぼす影響—心臓自律神経活動評価による観察研究—
4. 「近大ふりかけ」の開発 ～“オール近大”コロナ対策支援プロジェクト・規格外食材を利用した食環境整備～
5. 食品ロス削減に向けた食品廃棄部位活用による健康レシピ考案
6. 大学生の朝食欠食率改善に向けた研究 —食への実態調査と意識についての調査—

2) 主要な研究・教育業績 (著書、総説、原著論文、その他著作、特許等知的財産、招待講演、学会発表、講演会その他発表で当てはまるものを記載する)

「原著論文」

1. Mengyan Wei, Pu Wang, Xiufang Zhu, **Masaki Morishima**, Yangong Liu, Mingqi Zheng, Gang Liu, Hiroki Osanai, Kenshi Yoshimura, Shinichiro Kume, Tatsuki Kurokawa, Katsushige Ono
Electrophysiological evaluation of an anticancer drug gemcitabine on cardiotoxicity revealing down-regulation and modification of the activation gating properties in the human rapid delayed rectifier potassium channel.

PloS ONE 18(2) e0280656, 2023

2. Yan Wang, **Masaki Morishima**, Katsushige Ono

Protein Kinase C Regulates Expression and Function of the Cav3.2 T-Type Ca^{2+} Channel during Maturation of Neonatal Rat Cardiomyocyte.

Membranes 12(7) 686, 2022

「招待講演」

1) Masaki Morishima

The effects of omega-3 polyunsaturated fatty acids on cardiac rhythm and electrical excitability

第69回日本不整脈心電学会学術大会 心電学サミット(札幌市) 2023年7月6日

2) 森島真幸

食生活と心機能—多価不飽和脂肪酸の栄養機能性—

日本生理学会100回記念大会(京都市) 2023年3月15日

「以上含めて6件」

「学会発表」

1) **Masaki Morishima**, Kosuke Horii, Pu Wang, Kazuki Horikawa, Katsushige Ono

Saturated fatty acids induced Ca²⁺ overload is ameliorated by eicosapentaenoic acid in cardiomyocytes

第 100 回日本生理学会大会（京都市）2023 年 3 月

2) 堀井 鴻佑, 王 普, 堀川 一樹, 小野 克重, **森島 真幸**

高脂肪負荷による心筋電氣的リモデリングに対し ω -3 多価不飽和脂肪酸は受容体 FFAR4 非依存的に保護作用を発揮する

第 31 回日本病態生理学会大会（岐阜市）2022 年 8 月

「以上含めて 11 件」

3) 研究資金獲得状況 （公的資金、受託・寄附研究、その他に分けて記載する）

「公的資金」

1) 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「多価不飽和脂肪酸の心筋保護作用の証明と分子機

序の解明」(令和 5 年度～7 年度) 416 万円

「受託・寄附研究」

該当なし

4) 各種委員会委員などの兼務業務（学外の公的な委員）

日本病態生理学会理事（森島）、日本不整脈心電学会評議員（森島）、日本生理学会評議員（森島）、日本生理学会男女共同参画推進委員（森島）、日本生理学会女性研究者の会編集委員、学術雑誌 Membranes Academic Editor (森島)

5) 新聞・雑誌等記事掲載およびテレビ・ラジオ出演等

該当なし

食品化学研究室 教授 近藤 高史

1) 令和4年度活動報告

味覚相互作用に関する以下の研究を行った・

- ① NaCl の甘味増強作用
- ② NaCl と うま味の味覚相互作用
- ③ NaCl と酸味／苦味の味覚相互作用
- ④ 苦味の味覚変調作用

2) 主要な研究・教育業績

「原著論文」

Takashi Kondoh: Enhanced preference for dried bonito *dashi* by prior experience with *dashi* and various taste substances in mice. *Physiol. Behav.* **261**: 114084 (2023). [https://doi.org/ 10.1016/j.physbeh.2023.114084](https://doi.org/10.1016/j.physbeh.2023.114084).

「学会発表」

- ① **近藤高史**: かつおだし嗜好性増加に寄与する成分の探索、食欲・食嗜好を形成する感覚・内分泌・神経基盤研究会、2022年10月1日（オンライン開催）.
- ② **Takashi Kondoh**: Inosine 5'-monophosphate (IMP) enhances preference for dried bonito *dashi* by prior exposure in mice. The 19th International Symposium on Molecular and Neural Mechanisms of Taste and Olfactory Perception (ISMNTOP2022/23), March 18-19, 2023, Okayama.

「学外講義」

近藤高史: だしのおいしさの秘密、集まれアグリ村、2022年10月19日（オンライン開催）.

「その他」

近藤高史: 書評「食品のコクとは何か おいしさを引き出すコクの科学」、日本味と匂学会誌 **29**(1): 51-52 (2022).

3) 研究資金獲得状況

なし

生体機能学研究室 教授 佐久間 圭一郎

(1) 令和4年度活動報告

着任初年度のため、研究室のセットアップに時間を要した。また、当研究室の研究には遺伝子組換え実験が欠かせないため、手続きに必要な申請書の作成ならびに拡散防止措置に必要な諸準備をおこなった。申請書は年度内に起案が完了した(令和5年度に承認された)。

当該年度中に始動できた研究テーマとして、「大腸がんの新規転移抑制遺伝子の同定」がある。本テーマは先年愛知県がんセンター研究所にて実施した shRNA ライブラリーを用いたマウス生体内スクリーニングによって同定された 46 個の転移抑制候補遺伝子の中から、より可能性が高い遺伝子を抽出し、その機能ならびに発現制御機構の解明を試みるものである。当該年度は、スクリーニングの際に転移巣から抽出済みのサンプルを用いて、RT-PCR とウエスタンブロットで候補遺伝子の絞り込みをおこなった。次年度以降、それらの遺伝子について精査を進める予定である。また、遺伝子組換え実験の承認後、他の研究テーマも始動する予定である。

(2) 主要な研究・教育業績

無し

(3) 研究資金獲得状況

1. 令和2～4年度 科研費(基盤研究C)

新規同定一次線毛発現制御分子 KATNAL2 は肺腺癌幹細胞の治療標的となり得るか？

(研究代表者)

2. 令和4年度 がん研究振興財団 がん研究助成金

新規同定大腸がん浸潤制御因子 CTNND1 アイソフォーム 3A の治療標的としての有効性の検証

(研究代表者)

(4) 各種委員会委員などの兼務業務(学外の公的な委員)

無し

(5) 新聞・雑誌等記事掲載およびテレビ・ラジオ出演等

無し

病態栄養学研究室

教授 伊藤龍生

1) 令和4年度活動報告

潰瘍性大腸炎及びアトピー性皮膚炎の栄養に関する研究

栄養による生活習慣病発症抑制効果に関する研究

2) 主要な研究・教育業績 (著書、総説、原著論文、その他著作、特許等知的財産、招待講演、学会発表、講演会その他発表で当てはまるものを記載する)

「著書」

1) なし

「原著論文」

1) Mechanism of female pattern baldness in a rat model, Jpn. Pharmacol. Ther., 50, 21-30, 2022

「学会発表」

1) アトピー性皮膚炎 (AD) をモデルマウスを用いた *Bifidobacterium infantis* による AD 改善効果、第 76 回 日本栄養・食糧学会大会、志岐幸祐、田中大樹、藤崎明日香、立石里佳、伊藤龍生

2) *Lactobacillus plantarum* FKW200108 投与によるアトピー性皮膚炎抑制効果、第 76 回 日本栄養・食糧学会大会、立石里佳、笹田彩加、志岐幸祐、藤崎明日香、伊藤龍生

3) リンゴペクチン溶液の経口投与によるアトピー性皮膚炎の改善効果の検討、第 76 回 日本栄養・食糧学会大会、藤崎明日香、松井綾、立石里佳、志岐幸祐、伊藤龍生

4) *Bifidobacterium infantis* 経口投与による腸内環境改善が引き起こすアトピー性皮膚炎改善効果、第 25 回 日本臨床腸内微生物学会総会・学術集会、志岐幸祐、立石里佳、藤崎明日香、伊藤龍生

5) リンゴペクチン溶液の経口投与によるアトピー性皮膚炎の改善効果と腸内細菌叢に与える影響、第 25 回 日本臨床腸内微生物学会総会・学術集会、藤崎明日香、立石里佳、志岐幸祐、伊藤龍生

6) フナ寿司由来の乳酸菌によるアトピー性皮膚炎抑制効果の検討、第 25 回 日本臨床腸内微生物学会総会・学術集会、立石里佳、志岐幸祐、藤崎明日香、伊藤龍生

7) 脾臓免疫を介した *Bifidobacterium infantis* 投与によるアトピー性皮膚炎改善効果、第 61 回 日本栄養・食糧学会近畿支部大会、志岐幸祐、立石里佳、藤崎明日香、伊藤龍生

8) リンゴペクチンによるアトピー性皮膚炎モデルマウスの腸内細菌叢への影響、第 61 回 日本栄養・食糧学会近畿支部大会、藤崎明日香、松井綾、志岐幸祐、立石里佳、伊藤龍生

3) 研究資金獲得状況 (公的資金、受託・寄附研究、その他に分けて記載する)

「公的資金」

1) なし

2) 科学研究費補助金 基盤研究 (C)「EGCG による脳外傷後の高齢者高次脳機能障害発症抑制関連因子発現に関する研究」(令和 3 年度～7 年度) 430 万円

「受託・寄附研究」

1) 1) 受託研究費として 2 件, 計 285 万円

4) 各種委員会委員などの兼務業務 (学外の公的な委員)

・日本病理学会評議委員 (伊藤龍生)、BioMed Research International 編集委員 (伊藤龍生)

5) 新聞・雑誌等記事掲載およびテレビ・ラジオ出演等

なし

臨床栄養学研究室 准教授 木戸 慎介

1) 令和4年度活動報告

- ・近畿大学奈良病院における「食事満足度向上」に向けた介入研究
- ・がん患者を対象とした摂食嚥下支援プログラム(近大オリジナル嚥下食)の開発
- ・介護支援調理器具(デリソフター)の調理特性に関する研究
- ・食後高血糖の改善を目的とした新たな食事形態の開発とその臨床応用
- ・食事性リン管理の実現に向けた新たなCKD食事療法の開発とその応用
- ・CKD患者向け食事療法の新規開発:ビッグデータを活用した新たな栄養学的アプローチ
- ・食品機能性成分の実用化(商品化)に向けた機能性評価(ヒトでの検討)
- (黒大豆種皮抽出液が有する血管柔軟性の維持に関する有効性の検証、企業との共同研究)

2) 主要な研究・教育業績 (著書、総説、原著論文、その他著作、特許等知的財産、招待講演、学会発表、講演会その他発表で当てはまるものを記載する)

「著書」

- 1) 竹谷豊・塚原丘美・桑波田雅士・坂上浩 編、新・臨床栄養学(栄養科学シリーズNEXT)、分担執筆(13.筋・骨格系疾患)、講談社サイエンティフィック、ISBN:9784061553842、2023
- 2) 塚原丘美・木戸慎介 編、臨床栄養学実習 第3版(栄養科学シリーズNEXT)、ISBN:97840675301920、2023

「原著論文」

- 1) Uenishi K, Kawasaki N, Iseki H, Nogata M, Kawabata Y and Kido .S. Effect of a plant protein rich diet on postprandial phosphate metabolism in healthy adult men: a randomized controlled trial. J Human Nut and Dietetics, 2023, in press.

「学会発表」

- 1) タンパク質の量・質の違いが食後の血糖変動に及ぼす影響の検討,第20回日本栄養改善学会近畿支部学術総会、2023年3月12日、京都

3) 研究資金獲得状況 (公的資金、受託・寄附研究、その他に分けて記載する)

「公的資金」

- 1) 科学研究費補助金 基盤研究(C)「慢性腎臓病患者を対象とした栄養補助食品(低リン食品)の新規開発に向けた基礎的研究」(令和5年度～7年度)390万円

「受託・寄附研究」

- 1) 受託研究費として1件、計90万円
- 2) 共同研究として1件、50万円

4) 各種委員会委員などの兼務業務(学外の公的な委員)

- ・ 特定非営利活動法人日本栄養改善学会 理事（財務担当）
- ・ 特定非営利活動法人日本栄養改善学会 評議員
- ・ 特定非営利活動法人日本栄養改善学会近畿支部会 庶務幹事
- ・ 特定非営利活動法人日本栄養改善学会近畿支部会 評議員
- ・ 公益社団法人日本栄養・食糧学会 参与

5) 新聞・雑誌等記事掲載およびテレビ・ラジオ出演等
なし

契約助手室

契約助手 尾島朋子・関谷美喜子・岡林優里・濱田希

1) 令和4年度活動報告

(研究室・部門での研究課題や研究内容あるいは活動内容を記入する)

尾島	・栄養教育学研究室にて、近大女子柔道部に対して介入研究および栄養サポートを実施した。 ・母校（富山市立堀川中学校）の女子卓球部に対して、栄養レクチャーを実施した（令和4年8月8日 9時～11時ごろ）。 ・日本スポーツ栄養学会第8回にて「大学生女子柔道選手に対する食意識・食行動改善を目的とした集団栄養教育の有効性の検討」について発表した。 ・公認スポーツ栄養士養成講習会を受講（集合講習会：令和4年10月8日、9日、10日、専門科目前期講習会：令和4年11月19日、20日、26日）。他
関谷	・栄養教育学研究室にて、小学生・高校生への食育研究に参加し、高校生には食事調査を行った。 ・臨床栄養学研究室にて、家庭用調理ケア家電に関する研究計画立ち上げに携わった（令和5年度に研究実施）。 ・日本災害食学会 2022 年度学術大会を聴講（オンライン）。他
岡林	・栄養教育学研究室にて、近畿大学附属高等学校・アメリカンフットボール部を対象に介入調査や栄養サポートを実施した。また、農学部で実施された食育活動（附属幼稚園の芋の苗植え）に参加した。 ・学会聴講（日本スポーツ栄養学会第8回大会・オンデマンド配信）
濱田	・栄養教育学研究室にて、近大付属高等学校アメフト部に対して、介入調査および栄養サポートを実施した。また、農学部で実施された食育活動（附属幼稚園の芋の苗植え）に参加した。 ・日本スポーツ栄養学会第8回大会を聴講。

2) 主要な研究・教育業績（著書、総説、原著論文、その他著作、特許等知的財産、招待講演、学会発表、講演会その他発表で当てはまるものを記載する）

「原著論文」

（関谷）

- 1) 関谷美喜子；永原耕吉；阿部伶奈；佐藤紀代美；河村敦；万倉三正．イグサの消臭効果について．*日本家政学会誌*, Vol. 73, No. 5, 246-254 (2022)．
- 2) 関谷美喜子；山本雅子；花川容子；藤原夏樹；三澤嘉久；高山房子；大塚舞奈；佐藤紀代美；万倉三正．高純度ドコサヘキサエン酸含有飼料投与による鶏卵卵黄脂質組成の変化．*くらしき作陽大学・作陽短期大学 研究紀要*, 第55巻第1号, 3-15 (2022)．
- 3) 関谷美喜子；山本雅子；花川容子；藤原夏樹；三澤嘉久；高山房子；高見樹里；大塚舞奈；佐藤紀代美；河村敦；万倉三正．高純度ドコサヘキサエン酸含有飼料投与による鶏卵

の嗜好性及び調理的特性の変化. くらしき作陽大学・作陽短期大学 研究紀要, 第 55 巻第 1 号, 17-30 (2022).

「学会発表」

(関谷・尾島)

1) Toshiyuki Kohri; Kentaro Murakami; Masako Kawanishi; Chiho Myojin; Nozomi Okamoto; Tomoko Ojima; Mikiko Sekiya; Mako Yamamoto; Yuko Higashine; Nobuko Amano; Rie Hashimoto; Hiroyuki Tomotake. Hardness of the Habitual Diet in Relation to Body Mass Index, Waist Circumference, and Body Fat Percentage in Japanese Elementary School Children Aged 9-10 Years. The 8th Asian Congress of Dietetics. 横浜市 (ポスター発表)

2) Masako Kawanishi; Saki Yoshida; Rin-taro Yoshida; Tomoko Ojima; Mikiko Sekiya; Toshiyuki Kohri; Chiho Myojin. Dietary status of high school students, and effects of nutrition education on the status to the students. 22nd IUNS-International Congress of Nutrition. 東京 (ポスター発表)

(尾島)

・尾島朋子; 日埜佑香; 明神 千穂. 大学生女子柔道選手に対する食意識・食行動改善を目的とした集団栄養教育の有効性の検討. 日本スポーツ栄養学会第 8 回大会. 相模原市

3) 研究資金獲得状況 (公的資金、受託・寄附研究、その他に分けて記載する)

該当無し

4) 各種委員会委員などの兼務業務 (学外の公的な委員)

該当無し

5) 新聞・雑誌等記事掲載およびテレビ・ラジオ出演等

該当無し